

通夜



通夜は本来、故人の身内や友人が夜を徹して遺体を見守り、最後の別れを惜しんだもの。しかし最近は午後五、六時頃に開始し、読経は一時間以内位で終了する形が普通でその後通夜ぶるまいになります。

■通夜のマナー

時間的な都合が付かない場合はともかく、ゆとりをもって到着するようにし、急な場合でも服装は、できるかぎり地味なことが基本です。

■出欠に迷ったら

案内があれば出席しますが、迷う場合はそれとなく世話役などに相談して、「内輪だけ」と言われたら遠慮し、葬儀・告別式に出席するとよいでしょう。告別式に参加出来ない場合は弔問しても構いませんが、焼香が終ったらすぐ引き上げるようにします。

■通夜の席次

通夜の席次は、祭壇を中心にして左右に別れる場合、向かって右側には喪主、遺族、近親者、左側には世話役代表、友人・知人、会社関係となります。

世話役に席を指定されたときは、遠慮しないで座り、特に決められていない場合は、後

方の一般弔問客の席に座ります。故人との付き合いの程度を考え、また目上や年配者には上座を譲ります。

■通夜の焼香

喪主、遺族、その他弔問客の順に焼香が行われます。

また会場が狭いときには、香炉と香をのせた香炉盆が回ってくることも。いずれの場合も順番がきたら、両隣に軽く挨拶をしてから焼香をするようにします。

心をこめて一献でもよいとされています。

■通夜ぶるまい

僧侶の読経と焼香のあと、遺族から「通夜ぶるまい」を進められたときは、辞退するも

のでなく、席につくようにします。

故人を偲ぶ席であり、お酒も身を清める目的で出されるので、度を過ぎさないように。また、早目に切り上げるようにしましょう。

■供花のマナー

花輪（外立て）、または果物缶籠、生花等をお供えたいときは、メモリアル秩父へお申しつけ下さい。電話・FAXでも結構です。

TEL 62-3434

贈り先・日時・名札等ハッキリとお告げ下さい。後日払いでも承ります。

メモリアルホールにはホール用室内花環もあります。

